

授業科目名: 特別活動の指導法(初等)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 1単位	担当教員名: 丸本 茂樹 担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)	小学校教諭としての経験を持つ教員が、教育現場における特別活動の課題を中心に据え、課題について検討を行い、その解決を図るためにグループディスカッションや模擬授業の指導を行い、その成果等を発表・討議する。		
科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別活動の指導法		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 ○特別活動の意義と実践的指導方法 【到達目標】 ○特別活動の特質、目標と内容について理解するとともに教育課程における位置付けと各教科との関連を理解している。 ○学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の特質を理解している。 ○合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。 ○学習過程「集団や自己の生活上の課題を解決する」ためのICTを活用することができる。			
授業の概要 特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して行われる活動の総体である。本講では、学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点を踏まえて目標や内容が整理されていることを理解し、各活動及び学校行事で育成する資質・能力は何かを考える。また、学級年間指導計画や学習指導案の作成の仕方、学級会の指導・支援方法等について学修する。その際、特別活動の学習過程「集団や自己の生活上の課題を解決する」ためのICT活用も積極的に行う。			
授業計画 第1回:特別活動の特質と教育的意義について 第2回:特別活動の目標と内容、育みたい力について 第3回:特別活動と教育課程(特別活動と各教科・道徳・総合的な学習の時間との関連。) 第4回:学級活動の目標と内容、育てたい資質・能力 第5回:学級活動(1)と(2)・(3)の特質の違いと学習過程について 第6回:学級活動(1)学級会をやってみよう(議題収集・議題選定、計画委員会) 第7回:学級活動(1)学級会をやってみよう(話し合い活動の進め方) 第8回:学級活動(1)学級会をやってみよう(話し合い活動) 第9回:学級活動の指導計画の作成と配慮事項について 第10回:学級経営の基盤としての学級活動(いじめ問題等との関連) 第11回:児童会活動の目標と内容、育てたい資質・能力及び指導例 第12回:クラブ活動の目標と内容、育てたい資質・能力及び指導例(ボランティアの活用) 第13回:学校行事の目標と内容、育てたい資質・能力及び指導例(家庭や地域との連携) 第14回:特別活動を活性化させる教室経営(児童が意欲的に活動できる教室環境) 第15回:まとめ(特別活動における子どもの自主性を育む教師の役割について確認) 科目修得試験			
スクーリングでの学修 主に、4・6・7・8・10・11・12・13・15回の内容を含む。			
テキスト 文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編」東洋館出版社 978-4-491-03469-0			
参考書・参考資料等 (1)文部科学省『みんなてよりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編』文溪堂 2019年 (2)杉田 洋『小学校 新学習指導要領の展開』明治図書2017年11月 (3)ウェブ上の参照サイト ・全国特別活動研究会 www.tim.hi-ho.ne.jp/zentokkatu/			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			